

お薬の処方について

○後発医薬品（ジェネリック医薬品）について

当院では、後発医薬品の使用促進を図るとともに、医薬品の安定供給に向けた取り組みなどを実施しています。医薬品の供給不足等が発生した場合には、治療計画等の見直し等、適切な対応ができる体制を整備しており、その際には、患者さんへ説明し十分にご理解いただいた上で変更いたします。

○一般名処方について

当院では、後発医薬品のある医薬品について、特定の医薬品名を薬剤の成分をもとにした指定するのではなく、薬剤の成分をもとにした一般名処方（※一般的な名称により処方箋を発行すること）を行う場合があります。令和 6 年 10 月より、医療上の必要性があると認められず、患者様のご希望で長期収載品を処方した場合は、選定療養費として、後発医薬品との差額の一部が自己負担となりました。長期収載品とは、後発品のある先発医薬品で、後発品収載から 5 年経過しているものなどの要件にあった品目です。対象医薬品は厚生労働省ホームページに公開されています。

※一般名処方とは

お薬の「商品名」ではなく、「有効成分」を処方せんに記載することです。そうすることで供給不足のお薬であっても有効成分が同じ複数のお薬が選択でき、患者様に必要なお薬が提供しやすくなります。4

令和 5 年 3 月

医療機関名：医療法人社団董会 北須磨病院

ジェネリック医薬品とは

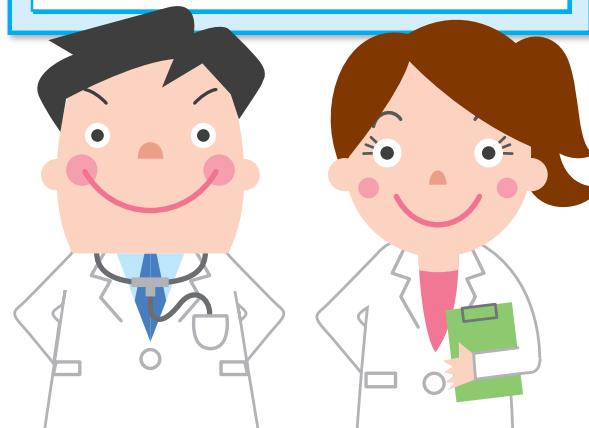
ジェネリック医薬品(後発医薬品)は、新薬(先発医薬品)の特許が切れた後に製造販売される、新薬と同一の有効成分を同一量含み、同一の効能・効果^(※)を持つ医薬品のことです。

^(※)新薬が効能追加を行っている場合など、異なる場合があります。

さまざまな病気・症状に対応

高血圧や糖尿病のほか、さまざまな病気や症状に対するお薬が揃い、カプセル・錠剤・点眼剤など形態も多彩。新しい技術で、味や飲み易さ、使用感が改良されたものもあります。

^(※)すべてのお薬にジェネリック医薬品があるわけではありません。



ジェネリック医薬品は
医療用医薬品です。
希望される場合は、
医師・薬剤師にご相談ください。



ジェネリック医薬品に関するお問い合わせ先

厚生労働省

☎ 03-5253-1111

独立行政法人

医薬品医療機器総合機構(PMDA／くすり相談窓口)

☎ 03-3506-9457

公益社団法人日本薬剤師会(くすり相談窓口)

☎ 03-3353-2251

日本ジェネリック製薬協会

☎ 03-3279-1890

一般社団法人日本保険薬局協会

☎ 03-3243-1075

一般社団法人日本ジェネリック医薬品・バイオシミラー学会

☎ 03-3438-1073

NPO法人ジェネリック医薬品協議会

☎ 0557-52-4886

●ジェネリック医薬品に関する情報は

 厚生労働省

厚生労働省 ジェネリック

検索



医薬品は正しく使っていても、副作用の発生を防げない場合があります。

そこで、医薬品(病院・診療所で処方されたものその他、薬局等で購入したものも含みます。)を適正に使用したにもかかわらず、その副作用により入院治療が必要になるほどの重篤な健康被害が生じた場合に、医療費や年金などの給付を行う公的制度が、医薬品副作用被害救済制度です。

●この制度に関する情報は

 独立行政法人
医薬品医療機器総合機構

副作用 救済

または
PMDA

検索

今まで。 これからも。

未来 Mirai
信頼 Shinrai
安心 Anshin
ジェネリック医薬品

ジェネリック医薬品のつながる先に。

安心・信頼

Anshin

Shinrai

ジェネリック医薬品は、 国の厳しい審査をクリア

ジェネリック医薬品は、新薬と同一の有効成分が、同一量含有され、同等の効き目があります。新薬と異なる添加剤が使用されることがあります、有効性、安全性及び品質について国が厳格な審査のうえ、製造販売の承認をしているお薬です。

効き目はもちろん、安全性も
新薬(先発医薬品)と同等です。



お薬の価格は新薬の5割程度。
それ以上、安いものもあります。

ジェネリック医薬品の使用で、 薬にかかる個人負担が軽くなる

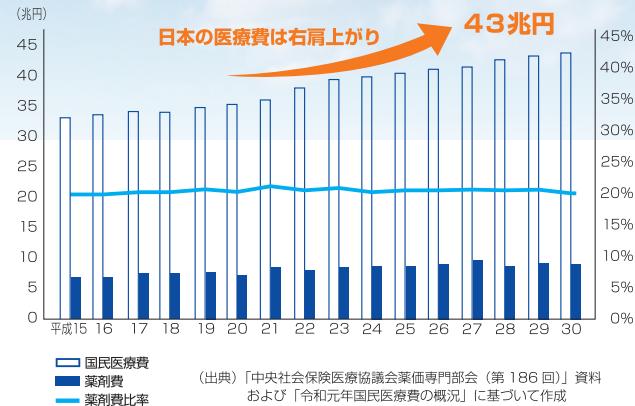
ジェネリック医薬品は、新薬と同じ有効成分を使用し、開発費用が抑えられるので低価格。医療の質を落とさずに個人の負担を軽くでき、家計をサポートします。複数のお薬の服用や長期服用が必要な場合などは効果的です。

未来

Mirai

ジェネリック医薬品の使用で、 医療費を有効活用

患者さんのお薬代を軽減することで、日本全体の医療費を効率化することができます。さらに、効率化できた医療費を有効活用し、新しい医療技術や新薬に向けることが可能となります。



日本の優れた 医療保険制度を次の世代に引き継ぐ

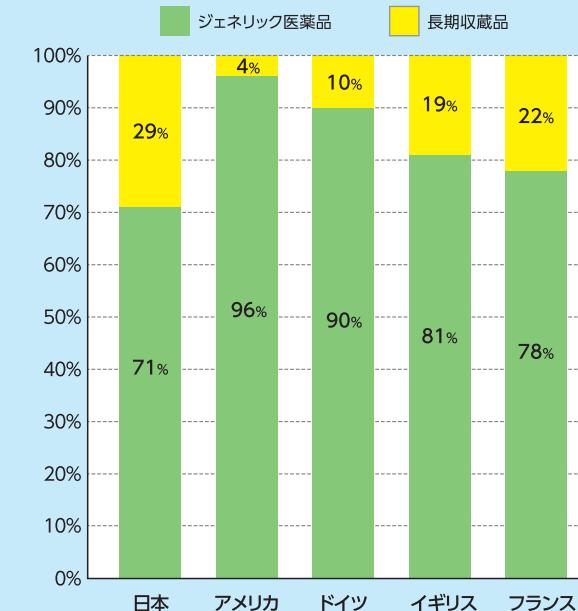
少子高齢化が進む日本では、今後も医療費の増大が予想されます。ジェネリック医薬品の使用は、一人ひとりの保険料の負担軽減につながるほか、優れた医療保険制度を次の世代に引き継いでいくことにも貢献します。

ここにも注目!

欧米では普及している ジェネリック医薬品

欧米では、日本に比べ、新薬からジェネリック医薬品への変更が進み、ジェネリック医薬品が広く普及しています。

ジェネリック医薬品の数量シェア <2020.10~2021.9の平均値>



Copyright © 2022 IQVIA. IQVIA MIDAS, MarketSegmentation, MAT Sep 2021, RX only (PRESCRIPTION BOUND) 他をもとに三菱UFJリサーチ&コンサルティング推計

無断転載禁止